

今月下旬に大阪市で開かれる20カ国・地域首脳会

議(G20サミット)に合わせ、世界の宗教指導者ら

世界の宗教者集う



京都府庁日本館旧議場で開かれたG20諸宗教フォーラムの開会式(11日午前10時22分、京都市上京区)＝撮影・佐伯友章

社会問題を議論

京でフォーラム
G20合わせ開幕

が集まる「G20諸宗教フォーラム2019」が11日、京都市内で始まった。経済成長や科学技術の発展に伴う社会問題を話し合い、サミットに政策提言する。

国内の仏教や神道関係者らでつくる「同フォーラム2019京都」(会長・瀬川大秀仁和寺門跡)が主催した。開会式は上京区の京都府庁日本館旧議場であり、キリスト教やイスラム教などさまざまな宗教を信仰する十数カ国の約120人が参加した。

瀬川会長は冒頭のあいさつで「宗教者も現代社会が提起する問題に対し、いかに責任ある応答をしていくべきかが問われている。社会に発信し、より良い世界を目指して行動していき

い」と述べた。

同日午後から下京区のキヤンパスプラザ京都で分科会があり、「AI(人工知能)の脅威と人間の責任」「生命科学と宗教」「格差社会と貧困」など八つのテーマで国際機関の専門家や研究者とともに議論を掘り下げる。最終日の12日に宣言文を採択し、日本政府に届ける。(森敏之)